

2020年12月22日

報道資料

問い合わせ先

奈良県立美術館（代）0742-23-3968
総務課 副館長 井ノ上雅光
（広重展）学芸課 三浦敬任
（新収蔵品展）学芸課 松川綾子

企画展「広重の名所江戸百景 併催：新収蔵品・新寄託品を中心に」の開催



[開催趣旨]

歌川広重（1797～1858）は、江戸時代末期に浮世絵風景画の名手として活躍した浮世絵師です。代表作の「東海道五十三次之内」（保永堂版五十三次）は、一説によれば、広重の東海道中の体験をもとに描いたと伝わります。その詩情溢れる浮世絵は江戸時代の人々の人気を集めました。

広重の「名所江戸百景」は江戸人の広重が晩年に描いた「江戸」の名所絵です。本作は明治時代まで摺り継がれる人気作でした。浮世絵は庶民が気軽に入手できる大量生産の版画で、描かれる対象は庶民の暮らしや関心事に密着していました。「名所江戸百景」は江戸の人々が自分たちの生きる都市の「名所」を再確認する浮世絵だったのでしょう。

本展では、広重の描いた「名所江戸百景」を前期・後期に分けて全点展覧します。また、近隣の美術館の協力を得て、広重の「東都名所」シリーズや「東海道」シリーズを展示に加え、江戸の人々も夢中になった広重の浮世絵風景画の魅力を機会といたします。

併催の「新所蔵品・新寄託品を中心に」では、近年当館所蔵・寄託となった作品のうち、

初公開の作品を含む絵画、彫刻、工芸、版画作品を展示し、当館の活動の一端を紹介いたします。

[開催概要]

期間：令和3年（2021）1月16日（土）～3月14日（日）

※前期：1月16日（土）～2月14日（日）、後期：2月16日（火）～3月14日（日）

開館時間：午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日 ※ただし3月1日、3月8日は開館

観覧料：一般400円、大学生・高校生250円、中学生・小学生150円

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、団体料金の設定はございません。

※次の方は無料でご観覧いただけます。

- ・65歳以上の方、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳をお持ちの方と介助の方1名
- ・外国人観光客（長期滞在者・留学生を含む）と付添の観光ボランティアガイドの方
- ・教職員に引率された奈良県内の小中高校及びこれに準ずる学校の児童・生徒
- ・毎週土曜日は県内外問わず、小中高生及びこれに準ずる学校の児童・生徒

[同時開催] 当館ギャラリー 観覧無料

NPO法人文化創造アルカによる連携展示「きたまち百景」（奈良県立大学との共催）

お問い合わせ：NPO法人文化創造アルカ TEL:0742-22-9080

<http://www.arca-nara.jp/>

[展示構成]

序 浮世絵師歌川広重

- 1 日本の名所絵
- 2 広重の名所絵
- 3 館蔵コレクションにみる名所絵
- 4 広重の名所江戸百景
- 5 新収蔵品・新寄託品を中心に

[主な展示作品]

歌川広重「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」

歌川広重「東海道五十三次之内 庄野」

歌川広重「東都名所 吉原仲之町夜桜」

葛飾北斎「富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図」 他

[関連事業]

◆講演会 講師 浅野秀剛氏（大和文華館館長）

「広重の名所江戸百景」令和3年2月14日（日）14時～

・美術講座 当館学芸員 三浦敬任

「名所江戸百景のみかた」令和3年1月24日（日）14時～

・ギャラリートーク（※実施場所、方法は未定（コロナウイルス感染症拡大防止のため））
令和3年1月30日（土）、2月20日（土）、3月13日（土）

主催：奈良県立美術館

後援：NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社、株式会社奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、阪神電気鉄道株式会社、奈良交通株式会社、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、株式会社南都銀行、（一社）日本旅行業協会、（一社）全国旅行業協会奈良県支部、（一社）国際観光日本レストラン協会、（一財）奈良県ビジターズビューロー、（公社）奈良市観光協会、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

奈良県立美術館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

tel:0742-23-3968 fax:0742-22-7032

<http://www.pref.nara.jp//11842.htm>